

キッズリパブリック東戸塚では「イベントを開催できない期間もお客さまと繋がってほしい」という思いから、この通信とキッズリパブリックアプリで情報発信を行っています。お子さまとのおうちでの生活にご活用いただければ幸いです。

おうちにあるもので つくってあそぼう 『針金ハンガーのバスケットゴール』

- 材料●
針金ハンガー2本/ビニールテープ/段ボール
ビニール袋/新聞紙/緩衝材/セロハンテープ
はさみ/黒の油性ペン/ガムテープ/ペンチ

- ハンガーの洋服をかける部分を丸くしたものを2つ作ります。
- 2つ重ねてビニールテープを巻いたら、引っかける部分をペンチで伸ばして直角に立てます。
- 段ボールをバックボードに手ごろなサイズに切ります。
外周と、中に長方形を黒で描くとゴールらしくなるよ!
- 袋の両側を斜めに、底はギザギザに切ったら、マジックで網目模様を描こう。
- ④を②の内側からかけてセロハンテープで一周貼りつけます。
- ③にハサミの先等で穴をあけ、⑤の針金部分を通し...
- 裏側をしっかりとガムテープでとめたらできあがり!

丸めたままフックとして使ってもOK!

壁に貼ったり、フックをつけてカーテンレールにかけたりしてあそぼう!

ボール

丸めた新聞紙に緩衝材を貼りつけ、ビニールテープで模様をつけました。

両側はセロテープで貼り合わせます。まっすぐのままだでもOK!

30Lの袋がちょうどよい大きさ

セロテープ

FIGHT!

二十四節気

~季節の移ろいを感じて暮らしに彩りを~

2月3日は『立春』でした。立春とは、二十四節気の一つで、「春のきざしが見え始める」時期。さて、二十四節気とは...?

❖ 節分は1年に4回あった!

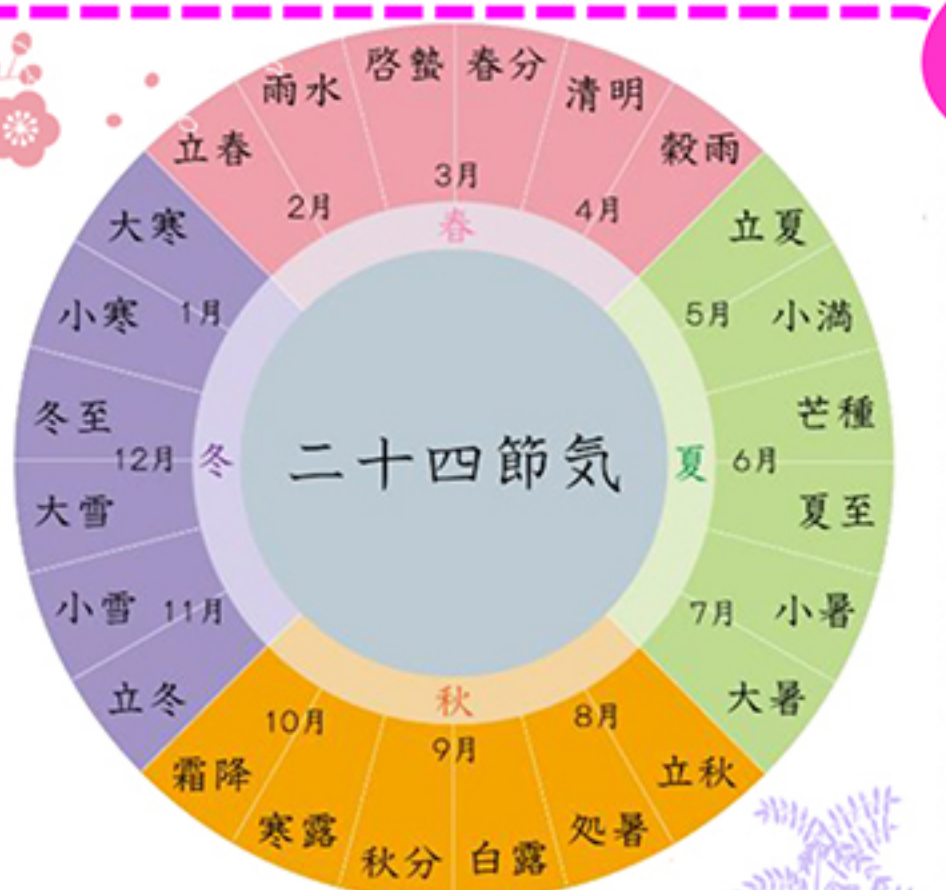
二十四節気とは、紀元前の中国で生まれた、太陽の動きに基づいた暦で、四季をさらに6つに分けて1年を24等分にし、その区切りに名前をつけたものです。「春分」や「冬至」「夏至」など、よく聞く言葉もありますね。四季の最初が、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」で、その前日が「節分」。実は節分って、1年に4回あるんです。昔は1年の始まりは立春からと考えられていたので、大晦日ともいえる立春の前日の節分は、特に大事な日として残ったのです。

❖ 各節気はおよそ15日間

立春を基準に様々な節目が決められている二十四節気は、節気の間隔が一定で、半月ごとの季節変化に対応しています。そのため、天候に左右される農業の目安として便利に用いられ、今でも年中行事や時候の挨拶など、様々なシーンで使われています。

❖ 立春の次は?

立春の次の節気は『雨水(うすい)』。あまり耳馴染みがありませんが、「降る雪が雨に変わり、雪解けが始まる次期」という意味で、今年は、2月18日から3月5日まで。一説には、「雨水に雛人形を飾ると、良縁に恵まれる」と言われています。



スマホで何でも調べられる便利な時代。気になった時に「今の節気」を調べて、数字では感じられないその時々季節を感じ、そこに息づく先人たちの知恵に思いを馳せてみてはいかがでしょうか?



❖ 立春のころ。キッズリパブリック東戸塚そばでは、梅が咲き、春のきざしが見え始めていました。

リサイクルマーククイズ

おうち時間とテレワークの増加でごみが増えている今だから知っておきたい!

- アルミ缶のマークはどれ?
A B C
- ペットボトルマークはどれ?
A B C
- このマークの意味はどれ?
R

A ペットボトルリサイクル推奨マーク
B エコロジーボトルマーク
C リターナブルびんマーク